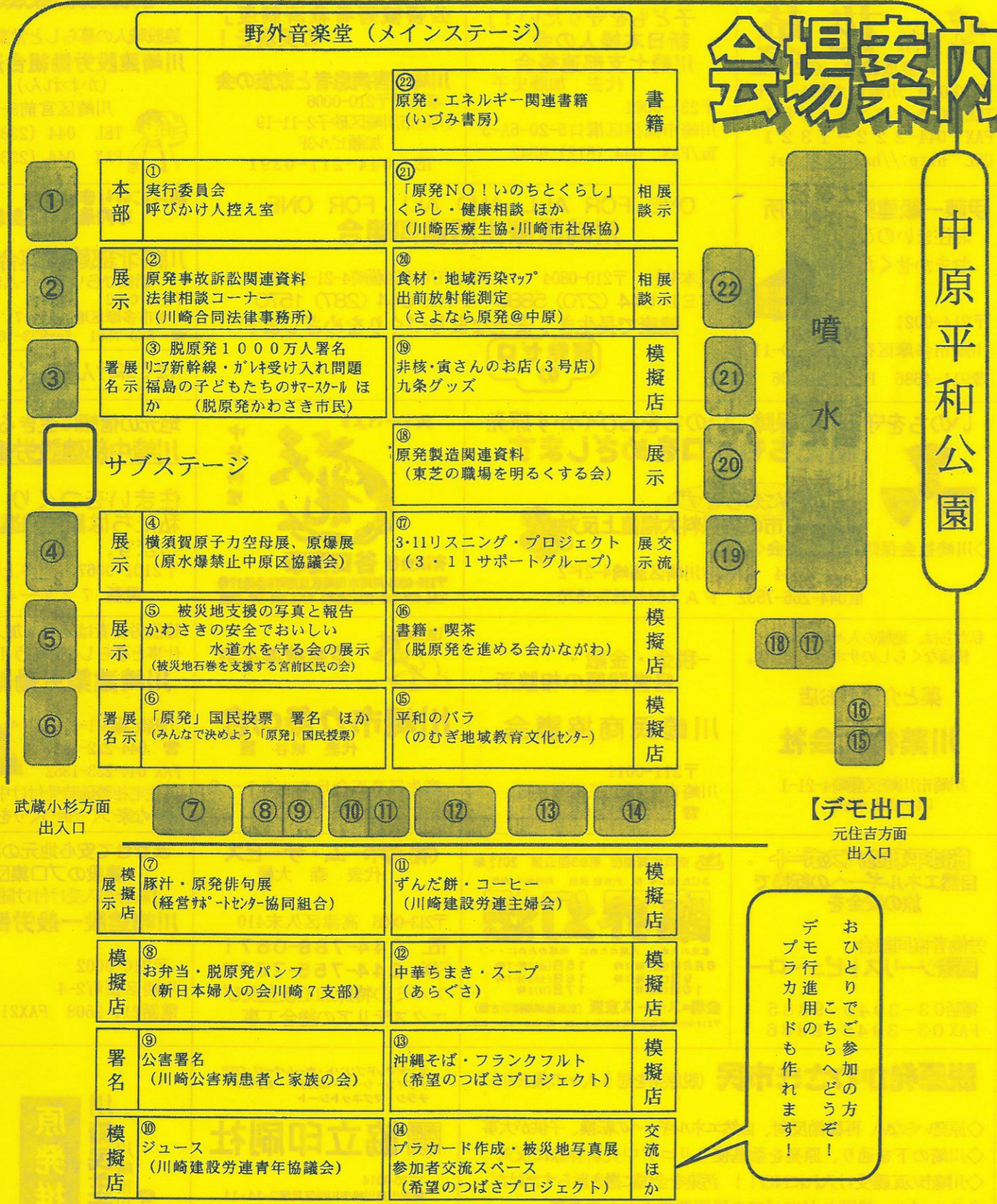


原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

会場案内



中原平和公園

噴水

【デモ出口】
元住吉方面
出入口

おひとりでも参加のうた
おひとりでも作れます！
デモ行進のうたも作れます！

《プログラム》

12:00~
文化行事 開演

<司会 湊 礼子>
ハンドベル「さくら」「栄光の架け橋」/ねぎぼうず
ギターアンサンブル「上をむいて歩こう」「手をつなごう」/小春日和
ライヤー演奏/みやたよしたけ
うた「にじ」/のむぎ保・幼部「どろん子」母子ほか
みんなで歌おう「原発さよなら」/吉川敏男
ベリーダンス系創作ダンス/龍頭(ろんど)
被災者のお話/山崎健一
独唱「一瞬の今」(林光 詩・曲)・「鳥の歌」(カタルニア民謡)
/松本良江(声楽家)・ピアノ伴奏 相崎智子
合唱「心つなごう」「町」/うたごえ合唱団
エイサー「笑顔のまんま」
/和太鼓でつながろう！震災復興をめざす実行委員会

13:00~ 「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」

<司会 中瀬奈都子・木下博志>
実行委員長からの挨拶 黙祷
呼びかけ人紹介
『医療×環境×法律 専門家によるリレートーク』
医師 布施純郎/教授 川口洋一/弁護士 渡辺登代美
『市民による「原発ゼロへのアピール」』
原発増設を前提とするリニア中央新幹線はいらない/伊藤英雄
福島の子どものための川崎サマースクール報告/木村雅子
韓国・モンゴル・日本の脱原発での連帯/崔 勝久
川崎市のガレキ受け入れ問題/神尾佳世
ひろがる「内部被曝」に立ち向かうために(メッセージ)/田代真人
3・11を前に(メッセージ)/菅野久美子
集会アピール/中瀬奈都子

14:00~ 「原発ゼロへの行進 “誰でもデモ”」

原発いらない / 子どもをまもれ / いのちをまもれ

集会アピール

東京電力福島第一原子力発電所の事故が起きて、一年がたちます。この事故は、周辺の人々の家や土地及び仕事を奪い、地域のコミュニティを破壊しました。今なお、10万人を超える人たちが避難生活を続け、多数の家族が離散したままです。放射能による汚染は非常に広範囲です。高い値の放射能が検出されるホットスポットと呼ばれる地点が川崎も含め全国に多数出現し、健康被害への影響、海洋汚染の影響は解明されず、多くの人が不安の中で暮らしています。原子力発電所の事故は、私たちの生活に果てしない被害をもたらす。私達が原子力発電所と共生できないことを、明確に示しました。

現在、原子力発電所の大半が、事故や定期検査で停止し、稼働しているのはわずか2基です。全ての原子力発電所の停止実現が目前ですが、原発推進勢力は、被害者の補償を怠り、事故の真相を隠したまま再稼働することに躍起です。焦点となっているのが、関西電力大飯原子力発電所(福井県おおい町)3、4号機です。経済産業省原子力安全・保安院は関電の安全評価(ストレステスト)を妥当としましたが、地元自治体及び住民は、納得せず、同意していません。

私たちは、国に対し、原子力発電所ゼロの社会を実現すべく、直ちに、自然エネルギーを中心としたエネルギー政策に転換することを求めます。大飯原子力発電所をはじめとする原子力発電所の再稼働に反対し、危険なプルトニウムを利用する高速増殖炉「もんじゅ」、核燃料再処理工場の廃棄、原子力発電所の新規計画の中止を求めます。「海に浮かぶ原発」といわれる原子力空母の横須賀母港化に反対します。

国は、これまで原子力発電所の輸出を進めてきましたが、今回の事故後も輸出政策を続けています。外国への輸出は直ちにやめるべきです。

被害者に対する全面的かつ完全な保障を速やかに行うことを国及び東京電力に求めます。原子力発電所の事故で一番被害を受けるのは、汚染された自然環境の中で生きることを強いられた子どもたちです。政府の安全神話に踊らされ、今回の事故を阻止できなかった私たちは、子どもたちが安心して生活できる環境を実現する責任があります。

私たちは、持続可能な自然エネルギーを中心とする「原発ゼロ」の社会の実現に向けて全力を尽くすことを決意し、アピールします。

2011年3月11日
「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」
参加者一同

みんなで歌おう『原発さよなら(歩いて行こう)』 大熊 啓 作詞・作曲 吉川敏男 替え歌

原発さよなら 原発さよなら 原発さよなら 私たちは 原発さよなら 原発さよなら もういない
原発さよなら 原発さよなら 原発さよなら 子どもたちに 原発さよなら 原発さよなら 平和な国を

「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」実行委員会
(連絡先 川崎市川崎区砂子1-10-2 ソオ砂子ビル7階 川崎合同法律事務所内 TEL:044-211-0121 FAX:044-211-0123)